



本村幼稚園 11月の園だより

平成28年10月31日 港区立本村幼稚園長 黒田 泰正

がんばった運動会、楽しかった芋ほり遠足

園長 黒田泰正

10月22日(土)の「親子運動会」が大盛況のもとに終わりました。まだまだ余韻が残っているほど、とてもよい内容でした。保護者の皆様には、お休みの日の土曜日にご来園いただき、幼児と共に競技に参加していただきまして、誠にありがとうございました。ご来賓の方々からも幼児のたくさんの演技やかけっこに対して、練習がよくいきとどいているとお褒めの言葉をいただきました。私は、「ライオンキング」になって2回、幼児の前に立ちました。はずかしながらも楽しさでいっぱいでした。

りす組の幼児たちには、初めての親子運動会でしたが、はと組の演技を応援したり、いっしょに真似をしてみたりして、憧れの気持ちや、仲良しの心をさらに多くもてたと思います。「ジャングルぐるぐる」は、りす組だけでよくがんばりました。

はと組のリレー「ころをひとつに」も一生懸命練習してきた成果が見られ、抜きつ抜かれつの接戦でした。何としても勝つという気持ちで必死に走った子どもたちでした。さすが、年長・はと組さんでした。紅組は負けて涙を見せていました。

最後の「みんなでおどろう、サンサン音頭」では、保護者や来賓の方にも入っていただいて、みんなが手をつないで大きな輪になり、見よう見まねでも盆踊りのように楽しくおどって心一つにしました。閉会式のあとには、心をこめて一人ひとりに金メダルをかけてあげました。「みんながんばったね、金メダルおめでとう」

10月25日(火)には、調布市にある永野農園に芋ほり遠足に行ってきました。現地では少し寒い気候でしたが、天候に恵まれてほぼ予定どおり進みました。この秋は不順な天候が続いたので出来具合が心配でしたが、大きなお芋がたくさん採れて、歓声があがっていました。

芋ほりをするときは、素足になって土をふみます。この体験は幼児にとって大切な経験と考えています。また、土の中からは、コガネムシの幼虫やバッタやミミズが出てきたり、もぐらの掘ったトンネルの土の盛り上がりがあったりしました。虫との出会いは大喜びの子たちが多く、これもよい体験でした。お芋を掘ったときの嬉しそうな幼児の顔が見られて最高でした。はと組の子どもたちは、大根も一本抜きました。

掘ったサツマイモや大根は子どもたちの印象に深く残り、大切に袋にいれたり、新聞紙にくるんだりしました。自分たちで収穫したお芋はさぞ美味しかったことでしょう。

このあとには、大根やお芋の絵をかく予定でもあります。行事を通して、たくさんのよい経験を積みました。12月の展覧会も楽しみです。2学期の後半もどうぞよろしくお願いいたします。



運動会、親子での競技



はと組リズム 「ライオンキング」



りす組 いもの絵を描こう